シチュエーショントラック ベースラインシステム

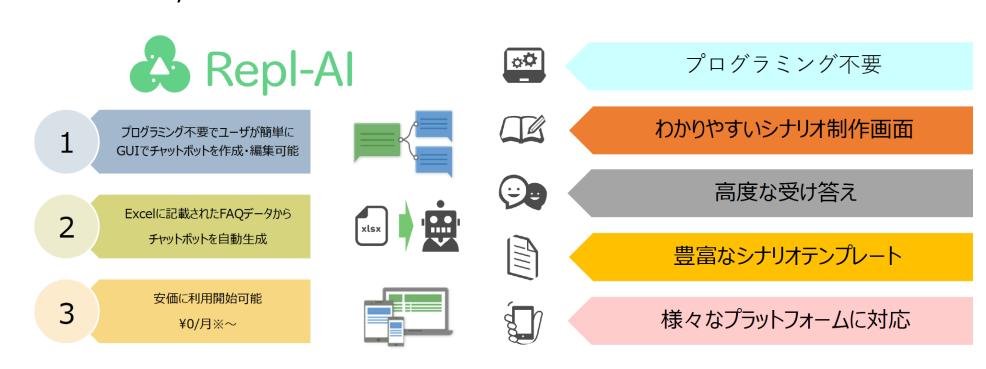
ライブコンペオーガナイザ NTTドコモ 角森唯子

ベースラインボットの概要(LiveCompetition2019)

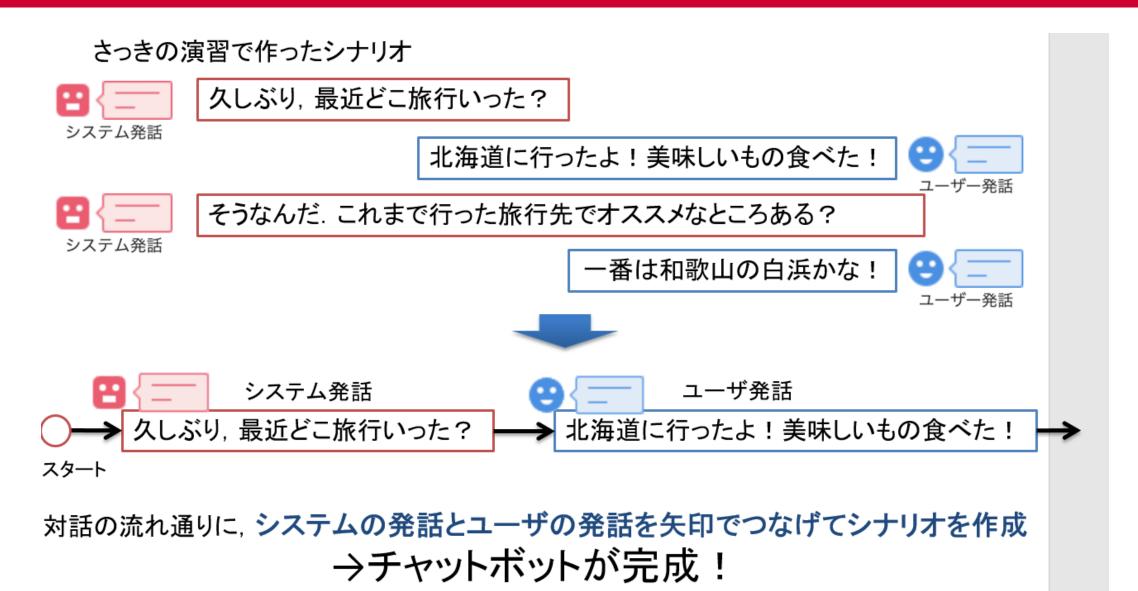
- Repl-AIを用いて構築した、ルールベース型の雑談対話システム
- ■話者は男性同士を想定
- ■システムの特徴
 - シナリオはすべて任意の入力を表すワイルドカード(*)に対して 作成(一切の分岐なし)
 - ユーザ発話に依存せず、予め準備された次の発話を行う
 - シナリオに使用したシステム発話はすべて人手で作成(合計で16 発話)

Repl-AIとは

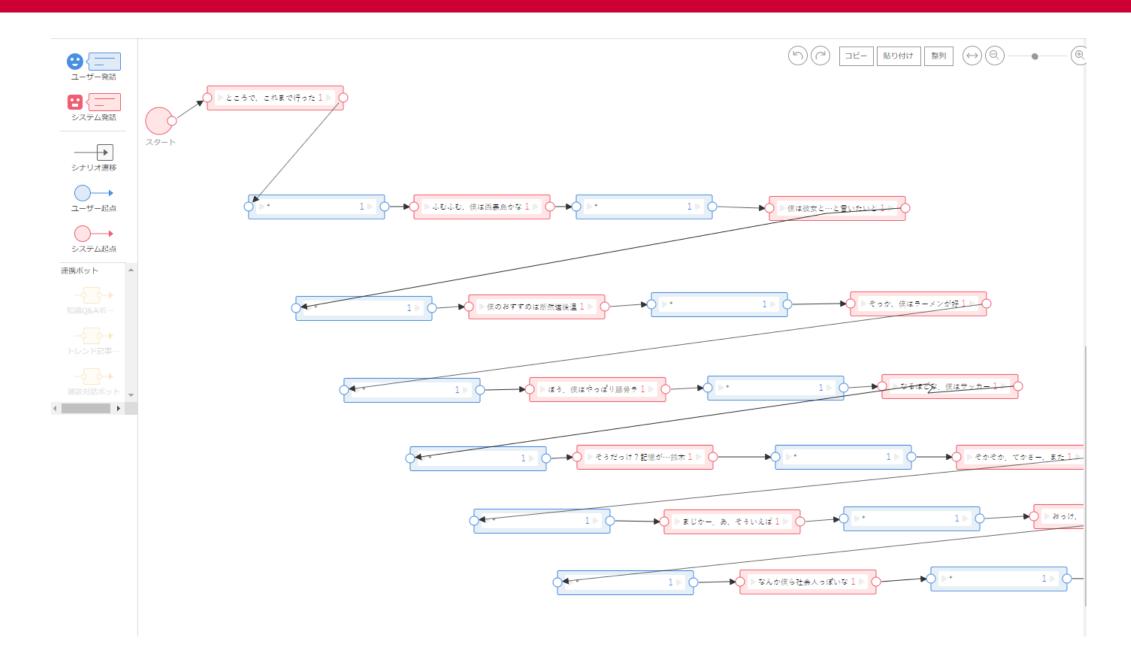
- ■プログラミング不要の無料チャットボットプラットフォーム
- NTTドコモ×インターメディアプランニング
- ■特徴
 - グラフィカルでわかりやすい作成・編集インタフェース
 - 高い自由度, 高度な受け答えが可能なシナリオ



Repl-AIの使い方



ボット作成画面



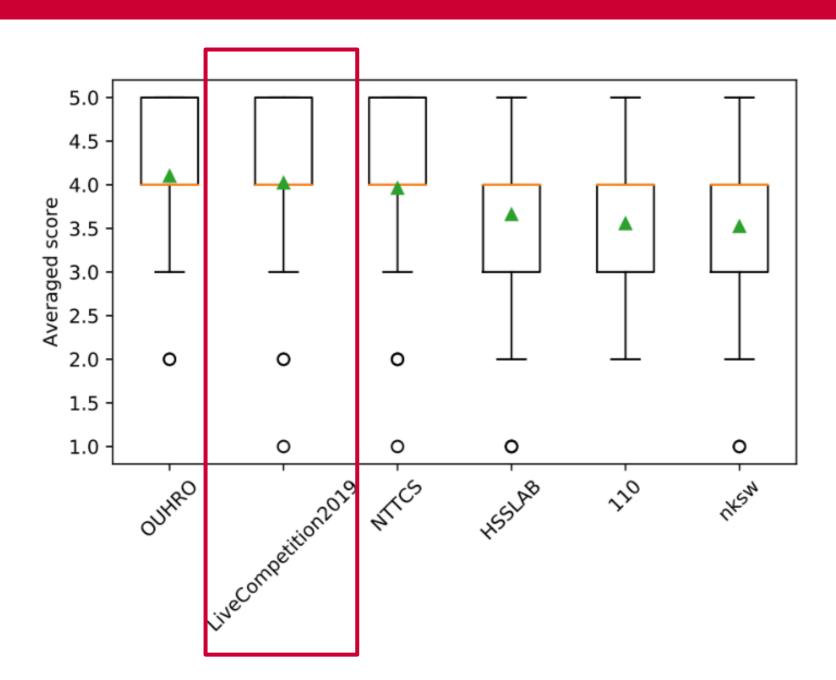
今回のシナリオ作成のポイント

- ■毎回ユーザに質問することで、対話の破綻を防ぐ
- 明示的・暗黙的な話題転換質問を織り交ぜる
- ユーザから逆質問が来ると対応できないので,質問する際に先に自分の情報を開示しておく

対話例

話者	
システム	なるほどな. 僕はサッカー部だったけど, 鈴木は何部だっけ?
ユーザ	全然帰宅部・・・
システム	そうだっけ?記憶が…鈴木は体重とか気にし てる?僕は最近青汁とか飲んでるわ…
ユーザ	おじさん体形にならないように気を付けてるよ。
システム	そかそか. てかさー, またみんなで集まりたいよな. 同級生の誰かにあったりしてる?
ユーザ	最近は会ってないなぁ。

ライブコンペ予選の結果



最後に:もつと複雑なシナリオを書きたい場合は・・・



- 開発者向けにxAIML(AIMLをドコモで独自拡張したもの) のプラットフォームを無料公開(非商用に限る)
- ■外部サービス連携可能